



シリーズ：IGPIの顔～こんな人・こんなチーム～

ものづくり戦略カンパニーの リケジョたち



多様な事業を展開するIGPIの中で、ものづくり戦略カンパニー（通称：もの戦）は製造業に特化したコンサルティング部隊として、クライアントである製造業の競争力とは何かという問いに日々向き合っております。その競争力の源泉には、例えば研究開発マネジメントや、製品の構想・設計力、データ解析力、あるいは量産するための生産技術力などがあります。多くの場合は複数の要素が絡み合っ

て構成されているものです。そのような技術と競争力の関係を理解するために、もの戦部隊は実際に製造業（自動車・部品・機械・素材等）でR&D、設計、生産技術を経験したメンバーで構成されています。実行性ある戦略立案から現場でのその実行支援を担うには、“現場経験”が不可欠だからです。

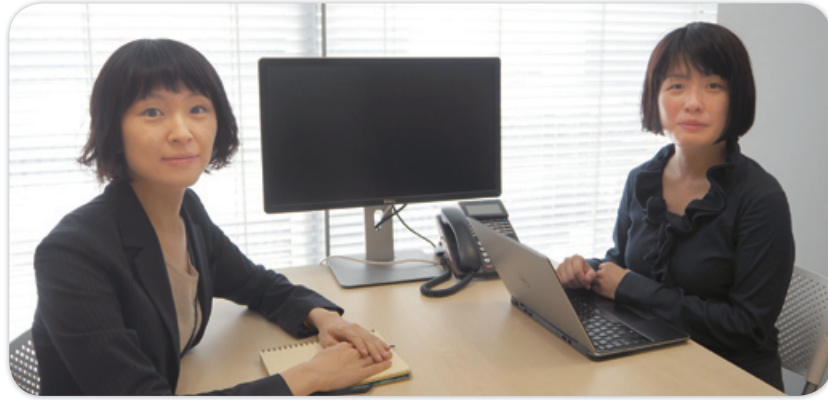
ところで昨今、理系女性、即ち“リケジョ”の活躍が目覚ましいと思います。リケジョという言葉も定着し、実際、颯爽と活躍している理系女性が増えてきました。もの戦にも、

理系学部出身、且つ製造業や大学で研究・エンジニアリングの仕事を経験し、現在もその知見を活かして活躍しているリケジョがいます。佐々木アソシエイトマネジャー（AM）と大野アソシエイト（AS）です。

佐々木AMは、IGPIにて新規事業開発や、設計改革など多岐に渡るプロジェクトに関わってきました。ある電子系技術による新規事業を検討するプロジェクトにおいては、クライアントよりその技術について詳しくなってしまう・・・また、自動車部品メーカーの案件では生産現場の各工程の設備配置・稼働状況、ヒトの配置まで詳細に把握し、原価改革というコスト競争力の観点からはとても重要な活動の土台を創りました。直近の設備メーカー案件では主要製品群の仕様を分解し、共通化・モジュール化による製品競争力の再構築をリード。多くの場合、クライアント企業の方々が佐々木AMに自社の技術や状況について尋ねるとい、逆転の状況を創っています。

前職は原子力関連等のエンジニアでしたがその経験を活かして技術そのものの理解はもちろん、IGPIでは経営視点・財務視点を加え、それが事業上どのような競争優位となるのか、あるいは課題となるのかについて考察します。そんなユニークな価値提供が可能な、技術





と経営のハイブリットリケジョです。今後は、特定の分野における産学官連携の第一人者を目指しています。企業と研究機関、官庁間の、複雑な利害関係の間においても事業として成立させる推進能力を磨くべく、仲間と切磋琢磨中です。

もう一人は大野ASです。元バイオ系研究員だけあって、普段目に映るモノは取りあえず主要成分の構造式で捉えているとのこと(!)。貪欲な知的好奇心が特徴で、研究職で鍛えられた仮説づくり、調査、検証という思考サイクルを、素早く廻します。そのスキルで、大野ASが参画する案件においては常に視界良好。不明瞭な部分を次々に整理していきます。

もちろん、素材系の新規事業を検討する際の技術的知見は圧倒的。製品技術から量産化における生産技術までカバーし、いわゆるバ

リューチェーンを横断した視点で分析します。更には異分野の自動車部品メーカーにおいても上述の能力を転用、技術と経営状況の理解、仮説構築、検証の高速サイクルを廻します。これにより、製品戦略の策定から、コスト削減活動の設計、実行における緻密なPDCAの推進までやってしまいます。高い基礎能力は化学業界や組立業界などの分野に関係無く強い、ということを体現しているツワモノリケジョです。将来は、有機化学・応用微生物の分野の企業を技術開発マネジメント面から強くできる人材になることも目指して、幅広い分野のプロジェクトを手掛けて実績を重ねています。

研究・開発の現場で鍛えられた思考力とタフさ、IGPIで戦略や財務といった経営視点も身に着けた、魅力溢れるリケジョたち。今後とも彼女たちの活躍にご期待下さい。

佐々木 彩子

アソシエイトマネジャー

東芝にて原子力応用製品・医療機器のシステム設計や新技術開発、エンジニアリング業務に従事。また、医療機器の国際標準化業務にも携わる。IGPI参画後は大手製造業の海外進出・新規事業開発における戦略立案・マーケティング調査、設計改革、変動費削減等に従事。明治大学理工学部卒、東北大学大学院理学研究科修了、AIPE認定知的財産アナリスト

大野 ふみ

アソシエイト

三菱レイヨンにて、新規事業創出および基盤技術強化のための技術開発に従事し、医薬品原料、汎用化成品等の製造技術開発、新規テーマ提案等を担当。ニューヨーク大学医学部にて生活習慣病の罹患原理の解明に関する研究に従事した後、IGPIに参画。部品・化学メーカーの戦略立案から現場改革、新規事業構想策定等に従事。京都大学農学部卒、同大学院農学研究科応用生命科学専攻修了